

60年史発刊によせて

(社)日本ウエイトリフティング協会
会長 林 克也



わが協会は、戦前、ウエイトリフティングを理解下されたスポーツ界の先輩諸氏のご努力により、昭和11年5月、全日本体操連盟の下に第1回全日本選手権大会を開催、この日、日本重量拳連盟を結成した。以来、戦前戦中戦後の搖籃期を経て、苦節60年、歴代役員、関係各位のご尽力により、今日を迎えるに至りましたことは、誠にご同慶にたえません。

顧みれば、昭和12年に全日本体操連盟から独立し、大日本体操協会(現日本体操協会)並びに国際重量拳連盟に加盟し、翌13年の第3回全日本選手権大会でフェザー級南寿逸選手が世界新記録を樹立し、スポーツ界の脚光を浴びましたが、昭和16年、世界大戦勃発により、連盟は解散を余儀なくされました。戦後、昭和21年、重量拳愛好者により、日本ウエイトリフティング協会として再発足し、第1回国民体育大会に参加、以来各都道府県協会も結成され、第51回広島国体を迎えるに至っております。

また、昭和39年の東京オリンピック大会、続くメキシコオリンピック大会ではフェザー級三宅義信選手が金メダル獲得をはじめ、多くの輝かしい成果を収めてまいりました。

協会も、昭和49年に社団法人の認可を受け、各種国際競技会日本開催をはじめ、全日本シニア、ジュニア女子大会等競技会も盛況に開催されるに至っております。

ここに、輝かしい60周年を迎えるにあたり、過去の歴史をひもとき協会60年史発刊の運びとなりました。

歴代役員、諸先輩各位の長年のご苦勞に対し、深甚な敬意を表するとともに、今後のご発展を祈念し、発刊によせるごあいさつといたします。

日本ウエイトリフティング協会60年史

*
目次

60年史発刊によせて 林克也 1

第一部 日本協会の歩み 9

日本協会の歩み 10

60年史年表 20

階級及び種目の変遷 26

歴代会長 28

協会役員 28

第二部 支部協会の歩み 29

北海道	30	新潟県	89
青森県	34	長野県	93
岩手県	38	富山県	95
宮城県	41	石川県	98
秋田県	45	福井県	102
山形県	49	静岡県	104
福島県	51	愛知県	109
茨城県	55	三重県	112
栃木県	57	岐阜県	115
群馬県	61	滋賀県	117
埼玉県	68	京都府	120
千葉県	71	大阪府	125
東京都	75	兵庫県	128
神奈川県	79	奈良県	133
山梨県	84	和歌山県	134

鳥取県	137	福岡県	166
島根県	141	佐賀県	169
岡山県	143	長崎県	171
広島県	147	熊本県	175
山口県	151	大分県	179
徳島県	153	宮崎県	181
香川県	157	鹿児島県	184
愛媛県	159	沖縄県	185
高知県	163		

第三部 資料篇 189

公認記録	191
男子 日本公認最高記録	192
男子 シュニア日本公認最高記録	193
男子 大学公認最高記録	194
男子 高校公認最高記録	195
男子 中学公認最高記録	196
女子 日本公認最高記録	197
女子 高校公認最高記録	198
男子 旧階級日本公認最高記録	199
男子 旧階級シュニア日本公認最高記録	200
男子 旧階級大学公認最高記録	201
男子 旧階級高校公認最高記録	202
男子 旧階級中学公認最高記録	203
女子 旧階級日本公認最高記録	204
国内競技会優勝者及び入賞団体	205
全日本選手権大会	206
全日本ジュニア選手権大会	212
全国女子選手権大会	214
国民体育大会	216
全日本社会人選手権大会	228

全日本実業団選手権大会	232
全日本大学対抗選手権大会	235
全国高等学校選手権大会	240
全国高等学校選抜大会	246
全国中学生選手権大会	248
国際競技会日本代表選手成績	251
オリンピック競技大会	252
アジア競技大会	254
東アジア競技大会	256
世界選手権大会	257
世界ジュニア選手権大会	260
アジア選手権大会	263
アジアジュニア選手権大会	265
世界女子選手権大会	266
アジア女子選手権大会	267
アジアジュニア女子選手権大会	268
あとがき	269